

伊勢を拠点とした歴史資料の調査研究・活用

研究の概要

- 中世以降に日本全国で大流行した「伊勢参宮」と、伊勢への信仰を広め、現代の伊勢志摩観光のベースを築き上げた「伊勢御師」について研究しています。最近では、新しく発見された（に触れる機会）などの取り組みも行っています。最近では、新しく発見された約15,000点にも及ぶ膨大な伊勢御師関係の歴史資料や、自治体や所有者の方からご要望いただき、古い墓石を調査しています。
- 地域に残された未公開の歴史資料を調査・整理し、展覧会・講演会・学校の出前授業といった様々な機会に、研究で得られた情報をわかりやすく発信しています。また、皇學館大学佐川記念神道博物館の学芸員として、歴史資料に書かれた文字（くずし字）の読解講座や、小学生以上の子どもたちを対象としたワークショップ（歴史・伝統工芸などに触れる機会）などの取り組みも行っています。



古文書調査の様子（資料整理・撮影など）



墓石調査の様子（拓本・実測図・撮影など）

連携アピール



- 伊勢を拠点として、地域に残された未公開の歴史資料を調査・活用し、展覧会や講演会、取材などを通じて情報発信しています。
- 小学生以上の子どもたちを対象としたワークショップや課外授業を通し、地域の魅力を次世代へ繋げる活動をしています。
- 自治体や所有者の方からご要望をいただき、古い墓石を調査しています。

キーワード



- 日本中世史・神道史
中世の伊勢神宮や信仰、伊勢御師の活動と展開に関する研究
- 生涯学習・文化振興活動
神道博物館を拠点とした地域史資料の調査研究・活用

研究者



小林 郁

Kaoru Kobayashi

助教 / 学芸員



研究開発推進センター（神道博物館）

